

〔第1日〕 1月28日(土) 午後

※1件の研究発表の時間は25分(発表15分、質疑応答10分)です。 ※PCは発表者をご持参ください。

■ 研究発表 (13:30~16:30)							
	A会場 (L102講義室)	B会場 (L104講義室)	C会場 (L107講義室)	D会場 (L109講義室)	E会場 (L204講義室)	F会場 (L205講義室)	G会場 (L206講義室)
①13:30 ~ 13:55	児玉章吾(横浜国立大学院生) 数学的知識の構成過程における生徒の誤りが果たす役割に関する研究 -協定的構成主義に焦点を当てて-	峯川真武(兵庫教育大学連合大学院生) 中学校の推測統計における課題 -ばらつきに焦点を当てて-	葛岡賢二(上越教育大学院生)・宮川健(上越教育大学) 中学校関数領域における世界探究パラダイムに基づいた教科横断型授業 -「世界人口総和問題」の検討を通して-		西宗一郎(広島大学院生) 数学教育におけるアイデンティティに関する研究	清水邦彦(立教新座中学校・高等学校) 数学的な表現の移行の実践及び調査に向けた一考察	東達也(広島大学院生)・福田博人(広島大学院生・日本学術振興会特別研究員) ザンビア共和国の算数・数学教育におけるNumber Sense獲得に向けた理論的枠組みの開発 -数直線に関する調査問題を通して-
②14:00 ~ 14:25	村上良太(広島大学院生・三原市立三原小学校) 児童の概念変容を促す算数科授業の開発研究 -認知的葛藤の生起と解消に焦点をあてて-	福田博人(広島大学院生・日本学術振興会特別研究員) ニュージーランドとの比較による日本の統計教育の性格 -文脈と社会的価値観を視点にして-	清水紀宏(福岡教育大学)・山田篤史(愛知教育大学) 「九九のひょうとさまり」の授業に見られるインフォーマルな表現		長沢圭祐(新潟大学院生) 算数教育における練り上げの発問行為に関する研究 -Argumentationを視点として-	服部裕一郎(高知大学)・井上優輝(広島大学附属福山中・高等学校)・松原和樹(中央学院大学)・袴田綾斗(広島大学附属中・高等学校) 数学教育で育成すべき資質・能力としての批判的思考力 -問題解決の思考法としての位置づけとその特性-	楊淋(広島大学院生) 中国における算数教科書の改善に関する基礎的研究 -日中比較を通して-
③14:30 ~ 14:55	渡辺信(日本数学検定協会・生涯学習数学研究所) 3.1+5.9の答えはいくつ? -数学教育上のあいまいな問題をどのように対処するか-	大谷洋貴(広島大学院生)・紙本裕一(広島県立西条農業高等学校)・広島大学院生・福田博人(広島大学院生・日本学術振興会特別研究員)・岩崎秀樹(広島大学名誉教授) 前期中等段階における起りやすさの推定に関する教授・学習に向けた課題と可能性	橋本善貴(新潟市立藤見中学校)・渡邊光(新潟大学附属新潟中学校) 関数領域における論証の多様性に関する一考察		両角達男(横浜国立大学)・荻原文弘(佐久長聖中学・高等学校) 「平方数の和」の積に関する数学的探究とその様相	井上優輝(広島大学附属福山中・高等学校)・服部裕一郎(高知大学)・松原和樹(中央学院大学)・袴田綾斗(広島大学附属中・高等学校) 組合せ論における諸問題を教材としたクリティカルシンキングを育成する数学授業の開発	杉浦祐輝(埼玉大学院生) 算数・数学科におけるデジタル教科書の位置付けに関する研究
《 休憩 14:55~15:05 》							
④15:05 ~ 15:30	片岡啓(和歌山大学) 「学科課程表」に見る旧制中等工業学校の数学教育	生田直子(廿日市市立四季が丘中学校) 中学校数学科における問題解決の力の育成に関する研究 -数学的な考え方を示したルーブリックを活用した実践-	河村真由美(広島県立広島国泰寺高等学校) 高等学校数学科における例を用いる活動に焦点を当てた授業構成に関する研究(Ⅱ) -意味づけを基にしたインスタレーションの実証的検討-		ファウラみどり(広島大学院生・英数学館小学校) 児童の小数倍のつまずきと分数除の演算決定に関する研究	川瀬新一(福井大学) 教科教育における授業活性化の方略	西森愛(広島大学院生) 高等学校数学科において思考過程を数学的に表現する力についての一考察
⑤ 15:35 ~ 16:00	堀江広樹(埼玉県寄居町立寄居中学校) 数学の創造・発展を通じた数学的活動の充実を目指す学習指導の研究(3)	山脇雅也(鳥取大学附属中学校)・溝口達也(鳥取大学) 中学校数学科における2次関数と2次方程式の教授学習に関する研究 -統合単元「関数と方程式III」の開発と実践-	竹内元宏(上越教育大学院生)・宮川健(上越教育大学) 高等学校数学科課題学習におけるSRPの可能性-		荻原文弘(佐久長聖中学・高等学校)・両角達男(横浜国立大学) 整数の乗法を解釈する活動と数の拡張に関する捉えの様相 -単元「比例・反比例」における数学的活動に着目して-	矢田敦之(高知県芸西村立芸西小学校) 算数科における「表」のタイプに関する一考察	吉田裕志(広島大学院生・広島県立日影館高等学校) 高等学校数学科における数学的活動を通して理解を深めるための授業づくりの研究
⑥ 16:05 ~ 16:30	紙本裕一(広島大学院生・広島県立西条農業高等学校) 終始沈黙した状態での中学校生徒の話の聴き方についての考察	山本美緒(大阪教育大学大学院生)・真野祐輔(大阪教育大学) 数学教育研究の方法論としての理論のネットワーク化について -多様なネットワーク化方略からみえる研究課題-	田名瀬寛史(大阪教育大学院生) 結び目理論を題材とした探究的な学習の在り方 -「課題の更新」に焦点を当てて-		大江将史(横浜国立大学院生) 拡張の考えに着目した負数乗法の捉えに関する調査		増永雄大(広島大学院生・広島県立世羅高等学校) 高等学校数学科におけるグループ学習を中心とした授業の設計と実践
《 休憩 16:30~16:40 》							
■ 開会行事・総会・学会賞授与式・ヒラバヤシ基金研究助成研究報告 (16:40~18:15) F会場 (L205講義室)							
■ 懇親会 (18:30~20:30) 会場：HAKUWAホテル(東広島キャンパス 広大郵便局前)							

〈第2日〉 1月29日(日) 午前

■ 研究発表(8:40~9:35)

	A会場〈L102講義室〉	B会場〈L104講義室〉	C会場〈L107講義室〉	D会場〈L109講義室〉	E会場〈L204講義室〉	F会場〈L205講義室〉	G会場〈L206講義室〉
⑦8:40 ~ 9:05	米山京香(広島大学院生) 高等学校数学科における空間 図形の理解に関する研究	鎌田 真司(兵庫教育大学院生) 筋道立てて説明する活動を通 じて理解を深める数学学習に 関する研究 - 問題解決プロセ ス図を用いて-	井ノ迫大吾(広島大学院生) 高等学校における生徒の数学 的理解を深める授業構成に関 する研究 - 生徒の体系的理 解の過程に焦点を当てて-	浦山大貴(広島大学院生) 数学教育における定理の逆の 間接的証明に関する考察	堀上元貴(高知大学院生) 反例による数学化についての考 察(2) - Borasiのエラー研究 を基に-	福永恭子(岡山大学院生) 文字式の一般性の認識過程に 関する研究 - 言葉の役割を 視点として-	惣坊誠太(三重大学院生) 高等学校数学科における微積 分カリキュラムの考察と実践 - 積分は「微分の逆」か「求 積」か-
⑧9:10 ~ 9:35	大林正法(兵庫教育大学大学院 連合院生) 小学校段階における図形の論 理的思考 - 帰納演繹過渡期に おけるアーギュメンテーショ ン-	徳増由美子(埼玉大学院生) 算数・数学教育における児童 生徒の主体的な学びに関する 研究 - 「考える場」を設定す る授業について-	阿部好貴(新潟大学) 数学的リテラシーからみた言 語活動に関する一考察	上ヶ谷友佑(広島大学附属福 山中・高等学校)・袴田綾斗 (広島大学附属中・高等学 校)、早田 透(広島大学附属 福山中・高等学校) 間接証明法指導の規範的枠組	世良亮輔(愛媛大学院生) 数学における批判的思考の育成 を目指した提案	川内充延(兵庫教育大学)・渡 邊公夫(早稲田大学) 平方根の導入教材に関する一 考察 - 「a倍してa倍すると2 倍になる」という図を糸口と して-	茂野賢治(立命館大学) 「数学的なアイデア」の創造 過程の検討 - 探究的な授業の ディスコースにおける生徒の 極限概念の認識に着目して-

《 休憩・会場移動 9:35~10:00 》

■ 全体会(10:00~12:00) 会場(広島大学サタケメモリアルホール)

【 特別講演 】

講 師：エリッヒ Ch. ビットマン博士

演 題：「生命論-進化論的デザイン科学としての数学教育学：再訪」

《 昼 休 憩 12:00~13:00 》

■ 研究発表 (13:00~16:00)							
	A会場 (L102講義室)	B会場 (L104講義室)	C会場 (L107講義室)	D会場 (L109講義室)	E会場 (L204講義室)	F会場 (L205講義室)	G会場 (L206講義室)
⑨13:00 ~ 13:25	安宅隆(三浦学苑高等学校) 活用型授業を通じた知識の習得を目指す指導の検討 一紙へリコプターを題材とした標準偏差の理解一	坪根沙織(広島大学院生) 幼児教育との接続を意図した算数科カリキュラムの開発研究		牛尾壮志(高知大学院生) 数学的推論力の育成を目指した授業の実証的研究 一アブダクションモデルの開発一	渡邊公夫(早稲田大学) 関数マンダラの教え	中西隆(広島大学院生) 探究に基づく文化的成分の事例についての考察 一生徒の振り返りに焦点を当てて一	松永昇也(早稲田大学) ド・ロンシャン点の性質の立体的なモデルを用いた証明
⑩13:30 ~ 13:55	加藤一樹(埼玉大学院生) 推測統計の指導に関する一考察	中和渚(東京未来大学) 幼児算数教育の数の遊びに関する実践における幼児の現状	坂岡昌子(上越教育大学院生)・宮川健(上越教育大学) 大学生による不等式の捉え方について 一学習困難性の一要因一	木村恵子(広島修道大学) 香取良範の算数科カリキュラムによる授業構成原理の研究 一「算数教育要目」の検討を通して一	今野晃(早稲田大学院生) ヘロンの公式の幾何学的解釈について	加藤久恵(兵庫教育大学)・堀田千絵(関西福祉科学大学)・植田悦司(加東市立福田小学校)・有吉克哲(兵庫教育大学附属小学校)・林達哉(兵庫教育大学院生)・指熊衛(兵庫教育大学附属小学校)・藤原達矢(兵庫教育大学附属小学校)・木村友香(兵庫教育大学附属小学校) 「問い」をうむメタ認知を育てる算数科授業づくりに関する研究	小林文美子(川崎医療短期大学) 数学的表現と物理的解釈をブレンドするための枠組みの考察 一三角関数のグラフと波動・単振動の内容の分析一
⑪14:00 ~ 14:25	石橋一昂(広島大学院生) 意思決定に求められる数学教育における確率の内容編成に関する一考察	廣田朋恵(広島大学院生・三次市立神杉小学校) 算数のよさを感じ得る授業の開発研究 一算数と生活のつながりに焦点を当てて一	吉村直道(愛媛大学) 数学学習における構成的な学習と教授的な学習による理解の定着についての比較研究 (1) 一3日後, 5日後, 2週間後, 1ヶ月後, 3ヶ月後の変容に注目して一	二宮裕之(埼玉大学) 学習指導案の歴史的変遷とその役割について	渡邊公夫(早稲田大学) 加法定理の純化は何をもたらすか	大滝孝治(北海道教育大学釧路校)・岩崎秀樹(広島大学名誉教授) 全国数学教育学会における数学教育研究の傾向と特徴 一学会誌掲載論文の分析を通して一	山本文隆(長崎県立小浜高等学校) フェルマーの最終定理に比したピタゴラス三角形の特異性
《 休憩 14:25~14:35 》							
⑫14:35 ~ 15:00	渡邊耕二(宮崎国際大学)・高阪将人(国際協力機構) 数学と理科の学力の関連性の国際比較 一PISA2012とPISA2003の二次分析から一	山中法子(福山市立柳津小学校)・前田静香(倉敷市立箭田小学校)・玉木義一(鳥取市立江山中学校)・溝口達也(鳥取大学) 動的な見方を育成する学習指導の課題 一小学校高学年を対象とした実態調査を通して一	田原慶了(広島大学院生) 学校数学における美学に関する一考察 一証明の進め方の物語に着目して一	Nur Robiah Nofikusumawati Peni(広島大学院生) Development of Jakri Game Based Lesson Using Realistic Mathematics Theory on Elementary School Students' Understanding in Mathematics Focusing on Word Problem: A Case Study in Alor	大越健斗(東京大学院生) 平面図形の証明過程の様相 一下位目標の設定に注目して一	木村恵子(広島修道大学)・岡崎正和(岡山大学)・渡邊慶子(滋賀大学) 算数科教師に内在する授業構成原理に関する研究 一昭和初期の算術授業を対象として一	鵜野真哉(埼玉大学院生) 「検証する」活動を取り入れた数学的活動に関する研究 一「光の屈折」を題材とした三角比の教材を事例として一
⑬15:05 ~ 15:30	阿部卓朗(兵庫教育大学院生) 発表題目: 統計的リテラシーの育成についての研究 一「数理科学的意味決定」問題を用いた統計的探究プロセスの教材一	西村徳寿(兵庫教育大学大学院連合院生)・岡崎正和(岡山大学) 量の視点を意識した中学校の関数グラフの読解に関する研究	早田透(広島大学附属福山中・高等学校) 数学学習における教師の役割に関する一考察 一scaffolding概念の批判的検討を通して一	Ijlal Eltahir Ibrahim Ahmed(広島大学院生) Development an approach using mathematical modelling in Sudanese Secondary School	宍戸建太(岡山大学院生) 図形の証明の構成過程におけるジェスチャーの役割に関する研究	木根主税(宮崎大学) 数学教師教育における理論と実践の往還を基盤とした教員養成カリキュラムの研究 一F. Korthagenのリアリスティック・アプローチに焦点をあてて一	浅野剛史(横浜国立大学院生) 三角比に関する数学的洞察を促す方眼紙や電卓を用いた操作的活動とその意義 一三角比の学習に関する意識調査をもとに一
⑭15:35 ~ 16:00	大谷洋貴(広島大学院生) 統計的に論じる能力の発達を捉える枠組みの構築	松川仁(大阪教育大学院生) 数学的活動におけるmodel-ofとmodel-forの往還に関する分析 一高校生を対象とした教授実験を通して一	武岡翔平(広島大学院生) G. HarelのDNR理論に基づく知的必要性に着目した複素数単元の導入方法	石井洋(北海道教育大学函館校) ザンビア数学教師のアセスメント・リテラシーに関する研究 一授業研究における授業改善の事例を通して一	小野翔平(岡山大学院生) 空間的思考の発達を捉える理論的モデルについて	新井美津江(広島大学院生) カリキュラム知識についての教師の認識論的信念 一熟達教師の授業分析を通して一	堀内悠里(広島大学院生) 小学校教育がセネガルの子どものウオロフ語の数の認識に与える影響 一5の倍数に注目して一
■ 閉会行事 (16:05~16:15) 会場: F会場 《L205講義室》							

